

豊かな自然に恵まれ、「わさもん」と呼ばれる進取の気風に富んだ人が多い熊本にはさまざまな「日本一」が存在します。さらに、意外と知らない熊本発祥のもの、全国で熊本にしか存在しないものなど、熊本の「お国自慢」をご紹介します。

KUMAMOTO is

クマモト
ナンバーワン

No.1

えっ!! こんな日本一も

長〜いものから薄〜いものまで、県には農畜産物以外にも全国に誇る「日本一」が存在します。

◆**日本一長い石段** しゃがいんみさかゆうどう 釈迦院御坂遊歩道／美里町
山頂にある釈迦院の表参道で、昭和63年に完成した全長約2キロにおよぶ3333段の石段です。

◆**日本一長い読み仮名の駅**
南阿蘇水の生まれる里白木高原駅／南阿蘇村
「長者ヶ浜潮騒はまなす公園前駅」と並んで日本一長い駅名。熊本地震で普通になっている「南阿蘇鉄道」中松〜立野間の1日も早い復旧が待ち望まれています。

◆**日本一の名城** 熊本城／熊本市中央区
トリップアドバイザーの「行ってよかった! 日本の城ランキング」で3年連続1位(2013〜15年)を獲得。2019年予定の天守閣修復工事完成で再び1位を!

◆**日本一薄い和菓子** 松風(正観寺 丸宝)／菊池市
菊池市の代表的な和菓子。厚さわずか1〜2mmで、古くから伝わる伝統技法で作られています。

◆分娩数日本一

福田病院／熊本市中央区
厚生労働省のサイト「医療機能情報ネット」で、2015年3月末時点で全国1位の分娩数であると認められました。

行けば幸せになれる?!

おかどめ幸福駅／あさぎり町
平成元年に「岡留熊野座神社」の幸福ご利益にちなんで命名された駅。売店では幸福切符や絵馬などが販売されています。

全国に自慢したい特産品

多彩な農畜産物が生産される全国有数の農業県・熊本。
全国一の生産量・出荷量を誇る特産品もこんなにたくさん!

◆スイカ(平成26年)

全国でも一番早く出荷が始まり、特に熊本市は市町村別でも全国トップの生産量を誇ります。

◆甘夏ミカン(平成25年)

収穫量11,900tで国内シェア30%。芦北、宇城、天草地域を中止に生産され、3〜5月に出荷されます。

◆い草・畳表(平成26年)

国内シェア96%でダントツの日本一を誇る、県を代表する農産物。主に宇城市、八代市、氷川町で生産されています。

◆宿根カスミソウ(平成26年)

出荷量1,976万本で全国シェア42%。菊池、宇城、天草地域を中心に生産されています。

◆不知火類(デコボン)(平成25年)

収穫量約19,700tで全国シェア37%。JA熊本果実連では一定の品質や基準を満たしたものを「デコボン」として出荷。

◆トマト(平成27年)

国内シェア19%、産出額もトップ。豊かな土壌と清らかな水で、1年を通しておいしいトマトを生産しています。

取材協力:熊本県農業園芸課

これって、熊本だけのの!?

私たちの身近にあって「当たり前」と思っていたものが、実は「熊本にしかない」。そんな熊本ネタを集めてみました。

味噌にご利益?!

味噌天神(本村神社)／熊本市中央区

日本で唯一の味噌の神様を祭った神社。奈良時代、肥後国分寺で大量に腐った味噌をおいしい味に変えたという言い伝えが残っています。

空港の中に大学?!

崇城大学空港キャンパス／菊陽町

隣接する熊本空港と誘導路で結ばれる国内大学唯一の空港キャンパス。エアラインパイロットや航空整備士を育成しています。

畳に座って美術鑑賞?!

坂本善三美術館／小国町

明治5年に建てられた古民家を移築し、置き屋根式の蔵を模した展示棟と蔵蔵棟を加えて造られた日本で唯一の全館畳敷きの美術館。

熊本が「はじめて」物語

日本各地に点在する「〇〇発祥の地」。実は熊本にも多くの「日本初」がありました。

ふりかけの元祖は「御飯の友」

大正初期、日本人のカルシウム不足を補おうと薬剤師・吉丸末吉氏が考案。乾燥させた小魚を粉末にして調味した「御飯の友」は、現代でもおいしいカルシウム源として親しまれています。

日本の赤十字社誕生の地は熊本だった?!

1877年の田原坂の激戦をきっかけに、元老院議員・佐野常民が熊本城内に滞在中の有栖川宮親王を訪ね、敵味方の区別なく救援にあたる組織の設置を申し出ました。それが許可され、日赤の前身である「博愛社」が結成されました。

熊本市は日本初・アジア初のフェアトレード・シティ

発展途上国で作られた物を適正な価格で取引し、生産者の生活向上を支える仕組み「フェアトレード(公平貿易)」。2011年6月に認証され、市内には『ラフランド』をはじめ、多数の取扱店があります。

渋谷より子飼!? 日本初のスクランブル交差点

熊本市の子飼商店街入り口の子飼交差点は、スクランブル交差点の第1号。熊本県警察史によると1968年12月に横断歩道を、69年3月に信号機を設置。現在のスクランブル交差点の先駆けとなったとされています。

本場イギリスへも輸出。日本初の紅茶製造は山鹿地域

1875年、明治政府が外貨獲得のための紅茶の製造を奨励し、お茶処である山鹿に着目。日本初の紅茶伝習所を設置しました。一時途絶えた「肥後紅茶」ですが、現在は山鹿の4軒のお茶屋さんが紅茶の生産、販売を行っています。